

備前市施策評価シート

(平成18年度事業)

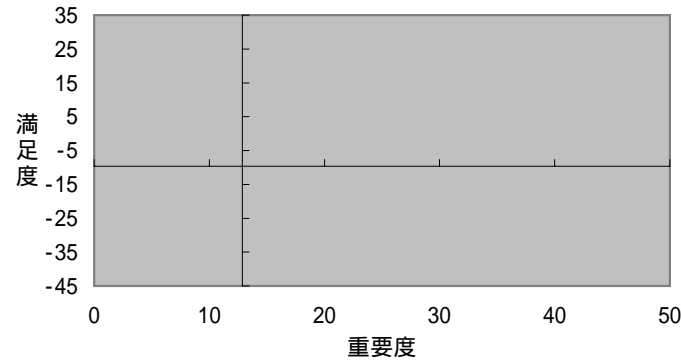
施策名 (小項目)	環境美化	コード	作成者	役職	環境課長
		01-02-02		氏名	有吉一博
				電話	64-1821

備前市総合計画の内容から記載する

施策の体系	大項目(基本目標)	安全で快適に暮らせるまちづくり
	中項目(基本施策)	生活しやすいまちづくり
施策の対象と目的 (誰のために、何のために)	清潔で快適な暮らしを求める市民のため、関係団体との連携のなかで、快適な生活環境の保持と環境美化の推進を図る。	
現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	不法投棄等は年々減少しているものの、マナーの欠如によるポイ捨ては後を絶たないのが現状であり、関係団体と連携しながら、より一層環境美化を図る必要があります。	
施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> 環境美化活動の推進 	

市民意識調査による施策の重要度・満足度

調査年度	H19	H20	H21
重要度(%)			
満足度(%)			



高↑満足度↓

低←重要度→高

平均

<見直し領域> その施策や事業が必要か否かの検討が必要

<維持領域> 現状の方向を継続

<検討領域> その施策や事業の存続の検討が必要

<強化領域> 内容等を見直し、市民満足度を高める事業を行う

調査結果に対するコメント、市民の反応等	不法投棄が後を絶たない中、市外からの持ち込み投棄など悪質なケースも増えている。今後もマナー・ルールを守るよう啓発を続けるしかない状況である。また、ごみの持帰り意識は思ったより高く、今後も啓発等で意識の高揚を図る。
調査対象でない施策の場合は、市民の反応等	

施策成果指標(基本目標・基本施策・施策意図から設定)

施策に対する成果指標名	単位	評価年度		目標値		ベンチマーク	指標の説明
		H17	H18	H23	H28		
1 不法投棄の件数	目標	件	5	5	5	5	不法投棄家電4品目の回収件数
	実績	件	9	21			
	達成率	%	180.0	420.0			
2 放置自転車撤去台数	目標	個	95	95	85	80	手続きを終え撤去した件数
	実績	個	103	114			
	達成率	%	108.4	120.0			
3 外出時のゴミは持ち帰るよう心がけている市民の割合	目標	%		95.0	100	100	市民意識調査結果
	実績	%		87.0			
	達成率	%		91.6			
4	目標						
	実績						
	達成率	%					

施策構成事務事業の評価

担当課長評価

施策を構成する事務事業名	事務事業評価結果 A~E (高~低)	細事業一覧表	事業分類	事業費(単位:千円)						優先順位 その他
				H17		H18		H19		
				直接事業費	人件費	直接事業費	人件費	直接事業費	人件費	
1 放置自転車対策事業	C	放置自転車対策事業	ソフト事業	30		0				
		駐輪場管理運営事業	維持管理	1,523		729				
		放置自転車対策事業	ソフト事業	0	1,669	0	3,601			
		駐輪場管理運営事業	維持管理	0		0				
		放置自転車対策事業	ソフト事業	0		0				
2 環境衛生事業	C	環境衛生指導員会補助金	ソフト事業	2,815		2,000				
		防疫事業	ソフト事業	1,649		557				
		防疫時事故対策	ソフト事業	164		164				
		県環境衛生協会東備支部負担金	ソフト事業	361		361				
		東備食品衛生協会助成金	ソフト事業	100	4,790	100	5,555			
		放置自動車処理事業	ソフト事業	0		0				
		使用済自動車等海上輸送費補助金	ソフト事業	0		0				
		その他	ソフト事業	173		1,145				
		不法投棄処理事業	ソフト事業	216		184				
		公衆トイレ維持管理事業	維持管理	601	2,250	676	280			
		日生地区清掃支援事業	ソフト事業	92		195				
		環境美化推進員事業	ソフト事業	2,808	7,740	0	5,570			
				10,532	16,449	6,111	15,006			

この施策に要した費用(人件費込、単位:千円)

	H17	H18	H19
	26,981	21,117	

以外で、目標達成に必要な新規事業及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	その説明

施策の評価

項目	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い			
	一次評価		二次評価	
	評価	判断理由	評価	判断理由
1 目的達成度	3	適正な事業実施ができています	3	同 左
2 事業構成の適当性	3	どちらともいえない	3	同 左
3 施策の有効性	3	どちらともいえない	3	同 左
今後の展開・協働の可能性・事業の見直し等の担当への指示		環境衛生指導員の定数に直しについては、実情に見合ったもので慎重に行うこと。		歩イ捨てのできないような環境づくり
二次評価者コメント 役職 市民環境部長 氏名 細見 峰一		アダプト事業の検討を		平成20年度 予算の方向性 前年度並みの配分